

樹木下草・詳細説明



■植栽後の手入れ■

○水遣り

植栽直後の植物は根が十分に張っていないため、水切れしやすい状態にありますので、根がしっかりと張るまでの間は水遣りが一番大切な仕事になります。水をあげるときは午前中にたっぷりが基本です。特に一度乾いてしまった土壌は思いのほか水が浸透しにくいので、やわらかい水量でたっぷりとあげましょう。植物の種類によって差はありますが、多くの植物では土の表面が白っぽく乾いてからあげるというのが水遣りの頻度の目安になります。この「土の表面が乾く」という状態は、天候、日当たり、季節、土の排水性などによって異なってきますので、夏場は1日に2回、3回とあげることもあれば、曇天や冬場は数日に1回ですむ場合もあるということになります。しばらく様子を見ながら、上記の目安を参考にご自分のお庭にあった水遣りのタイミングを探しましょう。また、花卉の薄い花（ペチュニアなど）は水が直接花にかかると傷んでしまったり、太陽の日差しが強いときに葉に水がかかると葉焼けを起す原因になることがあるので、基本的には株元にあげると良いでしょう。

○施肥

「BANS GARDEN」では、樹木には樹木用の固形暖効性肥料、草花には草花用の固形暖効性肥料を元肥として植栽時に施してあります。樹木に関しては1--2年の間は特に追肥する必要はありません。その後は様子をみて肥料を施す必要があります。樹木では多くの場合、施肥するタイミングは「寒肥」と「お礼肥」の年間で2回あります。「寒肥」は樹木が新芽を出す3月から4月頃に効き目が出るよう、通常2月頃に施します。樹冠の真下あたりに数ヶ所穴を掘り、油粕などを施し埋め戻します。花を楽しむ樹種は骨粉などのリン酸分を含む肥料を施すと花付きがよくなります。「お礼肥」は樹木が花や実を付けて体力を使った後に追肥しますので、比較的効き目の速い化成肥料が良いでしょう。ただし窒素分が多い肥料の場合、枝葉が茂りすぎて花芽が着かなくなってしまうことがあるので注意しましょう。

草花の施肥に関しては基本的には真夏と真冬の生育が止まる時期には控え、春や

秋のよく生育する時期に施します。草花に施してある暖効性の元肥は約 1 ヶ月間効き目がありますので、その後それぞれの植物に合わせて追肥します。開花期の長い一年草のような草花は、肥料が切れると花付きが悪くなる事がしばしばあります。良く肥料を欲しがる草花や早く肥料を効かせたい場合は元肥の暖効性肥料と合わせて液体の肥料で追肥すると良いでしょう。

○剪定および整枝

落葉樹の場合は葉のついていない冬に行うのが基本です。逆に常緑広葉樹の場合は冬場は避け、暖かい時期に剪定します。その他の時期に剪定する場合は、枝を軽く整理する程度の軽剪定に留めておきましょう。また花を楽しむ樹種は花芽が出来る時期を過ぎてから剪定してしまうと花が咲かなくなるので予め調べておく必要があります。

「BANS GARDEN」がお勧めしている雑木の株立ちは自然樹形を楽しむ樹種が多く、生育も比較的遅いので剪定などの手間は少なくて済みます。

剪定や整枝は植物の種類や仕立て方によって様々ですので、ご不明な点は遠慮なくご相談ください。

○病虫害

植物である以上、全く病虫害の被害がないことはありませんが、最小限に食い止めることは出来ます。薬剤などによる予防や駆除は効果は大きいですが、植物自体を健全で丈夫に育てることや病虫害に強い品種を選ぶことが予防の第一です。風通しや日当たりを良くしたり、植物にあった育て方を心がけ、病虫害に強い植物に育てましょう。病虫害も植物や環境によって様々ですので、対処方法などご不明な点は遠慮なくご相談ください。

シマトネリコ (常緑高木)

エゴノキ (落葉高木)

ジュンベリー (落葉高木)

プリペット (常緑低木)



オキザリス (多年草)

マホニア・セイリュウ (多年草)

ヤマボウシ (落葉高木)

セイヨウイワナンテン (常緑低木)

ヒューケラ (多年草)

クリスマスローズ (多年草)

アベリア (常緑低木)

クリスマスローズ (多年草)



マホニア・セイリュウ (多年草)

ローズマリー (多年草)

アジュガ (多年草)

クリスマスローズ (多年草)

アベリア (常緑低木)



ビバーナムティヌス (常緑低木)

マホニア・セイリュウ (多年草)

セイヨウイワナンテン (常緑低木)



クリスマスローズ (多年草)

アジュガ (多年草)

シマトネリコ (常緑高木)

ヤマボウシ (落葉高木)

アジサイ・アナベル (落葉低木)

ラベンダー (多年草)



クリスマスローズ (多年草)

ガーデンシクラメン (多1年草)

ミセバヤ (多年草)

ミスカンサス (多年草)



アベリア (常緑低木)

カルーナ (1 年草)

プリペット (常緑低木)



ガーデンシクラメン (1 年草)

クリスマスローズ (多年草)

プリペット (常緑低木)

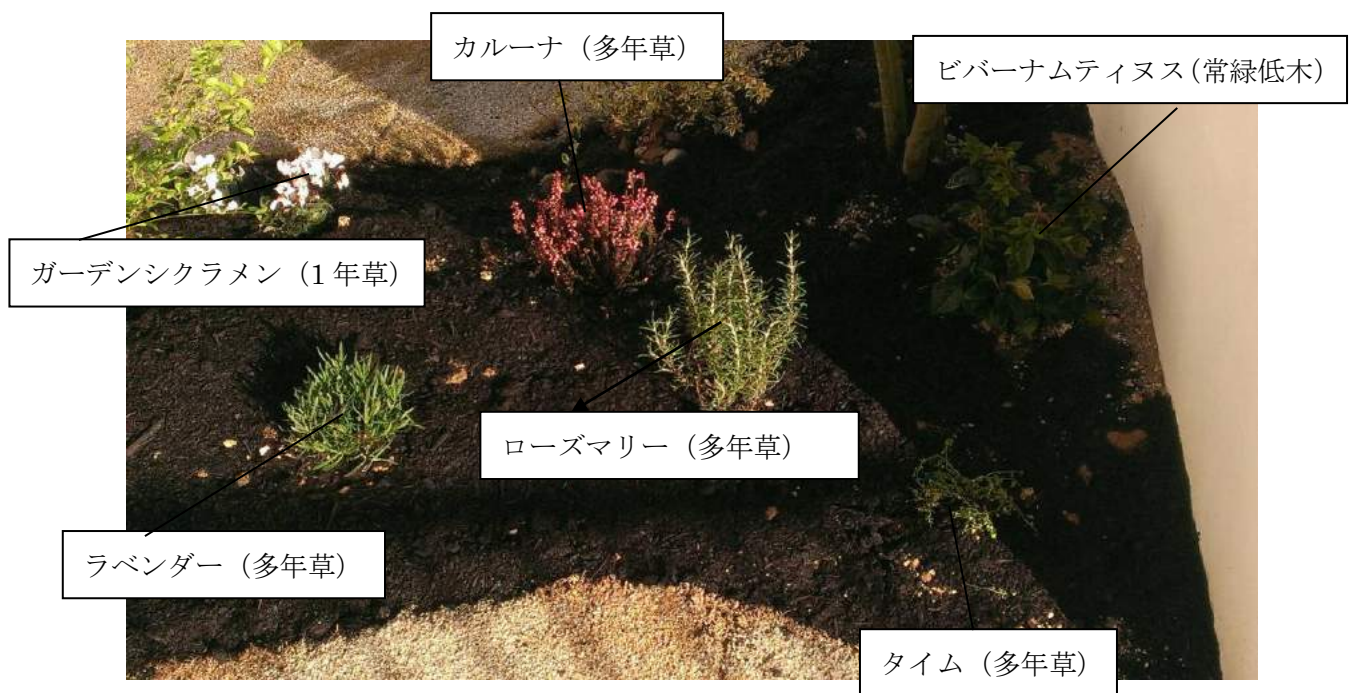
ローズマリー (多年草)

クリスマスローズ (多年草)



ラベンダー (多年草)

ロータス (多年草)



ローズマリー (多年草)



バコパ (多年草)

ラベンダー (多年草)

パンジー (1年草)

シロヤマブキ (落葉低木)



ニューサイラン (多年草)

ラベンダー (多年草)

ベアグラス (多年草)

ガーデンシクラメン (1年草)

アガパンサス

分類：多年草

日照：日向

土質：排水の良い土壌

水：乾いたらたっぷり与える通常の管理。

花期：6月、7月

肥料：春先と花後に暖効性肥料を与えます。

病虫害：特に心配ありません。

剪定：株が混み合ってくると花立ちが悪くなるので、4～5年に一度株分けをしたほうが良いでしょう。

メモ：梅雨時期にブルーの花を咲かせてくれます。葉は肉厚で、品種により冬も常緑のものと地上部が枯れてしまうものがあります。

アジサイ“アナベル”

分類：落葉低木

日照：半日陰、日向

土質：排水の良い土壌

水：生育期は湿り気味

花期：6月、7月、8月

肥料：早春と花後に暖効性肥料を株元にあげましょう。

病虫害：特に心配ありません。

剪定：花の後、8月の終わりごろまでには、新芽のついた節のすぐ上を剪定します。また、ほかのアジサイとは異なり今年伸びた枝に花芽をつけるので、春先に前年枝を強く剪定しても大丈夫です。

メモ：切花でも鉢物でも人気の高いアジサイです。純白の花が清楚でステキです。

アジュガ

分類：多年草、地被植物

日照：日陰、半日陰、日向

土質：排水の良い土壌

水：乾いたらたっぷり与える通常の管理

花期：4月、5月、6月

肥料：地植えなら元肥だけでほとんど必要ありません。

病虫害：特に心配ありません。

剪定：特に必要ありません。邪魔になったら任意で切り戻しましょう。

メモ：丈夫で育てやすい。マット状に広がリグランドカバーに最適。

アベリア

分類：半常緑低木

日照：半日陰、日向

土質：土質選ばず

水：乾いたらたっぷり与える通常の管理

花期：7月、8月、9月10月、11月

肥料：植え込み時に施す程度でよい

病虫害：特に心配ありません。

剪定：生長が早いので、伸びすぎた枝などは地際から切って間引くとともに、お好みの高さで刈り込みましょう。秋に強く刈る以外にも、適時剪定し、樹形の乱れを防ぐようにすると良いでしょう。

メモ：非常に強健

エゴノキ

分類：落葉高木

日照：半日陰、日向

土質：排水の良い土壌

水：乾いたらたっぷり与える通常の管理

花期：5月、6月

肥料：芽出しの為の寒肥(2月ごろ)と花後のお礼肥を株もとに与えます。寒肥は油粕などの有機肥料が良いですが、お礼肥には虫がわきににくいよう化成肥料が無難でしょう。

病虫害：特に心配ありません。

剪定：特に必要ありません。枯れ枝や不要な枝を間引く程度でOKです。

メモ：実にはサポニンという毒物が含まれています。

オキザリス

分類：多年草

日照：半日陰、日向

土質：排水の良い土壌、やや酸性を好む

水：やや乾き気味

花期：品種によって異なる

肥料：生育期間中は液体肥料なら週1回、化成の固形肥料なら月1回程度与えましょう。

病虫害：特に心配ありません。

剪定：特に必要ありません。花がらを摘む程度。

メモ：クローバーの様な葉を持つ多年草(球根)です。品種によって耐寒性が異なりますので、地植えにする場合は耐寒性が強いものを選びましょう。冬は地上部が枯れますが春にまた新芽が出てきます。

カルーナ ブルガリス

分類：常緑低木

日照：高温多湿を嫌う

土質：排水の良い土壌

水：土の表面が乾いたらたっぷり与えます。過湿にすれば

花期：6月から9月

肥料：春になって生長が活発になり始めれば市販の緩効性化成肥料を少し与えてください。

病虫害：特に心配ありません。

剪定：あまり大きくなる植物ではありませんが、適度に刈り込んで形を整えるのもよいでしょう。

メモ：冬期の乾燥と夏期の高温多湿に注意すると小低木に育ちます。

ガーデンシクラメン

分類：多年草

日照：半日陰、日向

土質：排水の良い土壌

水：乾き気味、過湿嫌う

花期：10月、11月、12月、1月、2月、3月、4月

肥料：開花時期は月2~3回程度液肥をあげましょう。夏場は休眠しますので地植えの場合は肥料も水も特に必要ありません。

病虫害：普通種のシクラメンに比べて病虫害に強いですが、害虫ではアブラムシやハダニがつくことがありますのでオルトランなどで予防しましょう。病気は梅雨時期など多湿になると灰色カビ病になることがあります。症状の出ている部分は取り除き、トップジンM水和剤などの殺菌剤で対処しましょう。

剪定：花が終わったら花首を根元から引っっこ抜きます。

メモ：ガーデンシクラメンはミニシクラメンの中から比較的寒さに強い品種を選抜したものです。夏場はやや苦手なので、花後、水を徐々に切って涼しい場所で休眠させてと良いでしょう。

クリスマスローズ

分類：多年草

日照：日陰、半日陰、日向

土質：排水の良い土壌

水：乾いたらたっぷり与える通常の管理

花期：12月、1月、2月、3月、4月

肥料：秋と花後に暖効性肥料を株元にあげましょう。

病虫害：特に心配ありません。

剪定：痛んだ葉はそのつど根元から取り除きます。花はそのまましておくと春過ぎまで咲いていますが、株の消耗を防ぐためにある程度楽しんだら根元から切り取ってあげましょう。

メモ：なんともいえないシックで上品な花が人気。丈夫で育てやすいところうれしい。夏場は半日陰、冬は日向がよいので、落葉樹の足元がベスト。シェードガーデンにも。

シマトネリコ

分類：半常緑高木

日照：半日陰、日向

土質：排水の良い土壌

水：乾いたらたっぷり与える通常の管理

花期：6月、7月

肥料：芽出しの為の寒肥(2月ごろ)と花後のお礼肥を株もとに与えます。寒肥は油粕などの有機肥料が良いですが、お礼肥には虫がわきにくいよう化成肥料が無難でしょう。

病虫害：病虫害は少ないが、新芽の時期にハマキガなどの幼虫が葉を食害することあります。葉の裏や葉を巻き込んだ中にいるので捕殺が一番効果的。もしくはスミチオン乳剤などの農薬を散布しましょう。

剪定：特に必要ありません。枯れ枝や不要な枝を間引く程度でOKです。

メモ：常緑樹ではあるが、落葉樹のようなやさしい雰囲気をもつ樹です。和にも洋にも良く合います。

シモツケ

分類：落葉低木

日照：日向

土質：排水の良い土壌

水：乾いたらたっぷり与える通常の管理

花期：7月、8月

肥料：2、3月に油粕や固形肥料などの寒肥を少々。

病虫害：特に心配ありません。

剪定：芽が出る前の2月頃に刈り込んで形を整えます。その後は花後に随時刈り込みましょう。

メモ：0

シロヤマブキ

分類：落葉低木

日照：半日陰、日向

土質：排水の良い土壌

水：乾いたらたっぷり与える通常の管理

花期：4月、5月

肥料：芽出しの為の寒肥(2月ごろ)と花後のお礼肥を株もとに与えます。寒肥は油粕などの有機肥料が良いですが、お礼肥には虫がわきにくいよう化成肥料が無難でしょう。

病虫害：特に心配ありません。

剪定：特に必要ありません。枯れ枝や不要な枝を間引く程度でOKです。

メモ：白い花が美しい、人気の庭木です

ジュンベリー

分類：落葉高木

日照：日向

土質：排水の良い土壌、湿地にも耐える

水：生育期は湿り気味

花期：4月、5月

肥料：芽出しの為の寒肥(2月ごろ)と花後のお礼肥を株もとに与えます。寒肥は油粕などの有機肥料が良いですが、お礼肥には虫がわきにくいよう化成肥料が無難でしょう。

病虫害：病害で目立つものは特にありません。害虫は、テッポウムシ、チャドクガなどが発生する場合があります、スミチオン乳剤等の薬剤を散布します。

剪定：特に必要ありません。枯れ枝や不要な枝を間引く程度でOKです。

メモ：実は甘酸っぱく、ジャムにしたり生食できます。

シルバープリペット

分類：常緑低木

日照：半日陰、日向

土質：排水の良い土壌

水：乾いたらたっぷり与える通常の管理

花期：4月、5月

肥料：芽出しの為の寒肥(2月ごろ)と花後のお礼肥を株もとに与えます。寒肥は油粕などの有機肥料が良いですが、お礼肥には虫がわきにくいよう化成肥料が無難でしょう。

病虫害：病虫害は少ない。モンキチョウの幼虫がつくことがあるが捕殺程度で良いでしょう。

剪定：花後と秋にお好みの大きさになるように刈り込みましょう。緑の葉の枝が出たときは根元から切っておきましょう。

メモ：丈夫で育てやすい。斑入りの葉が美しい。

セイヨウイワナンテン

分類：常緑低木

日照：日陰、半日陰、日向

土質：排水の良い土壌

水：乾いたらたっぷり与える通常の管理

花期：5月、6月

肥料：2、3月に油粕や固形肥料などの寒肥を少々。

病虫害：特に心配ありません。

剪定：特に必要ありません。

メモ：丈夫で育てやすい。高木の足元などに。

タイム

分類：多年草、ハーブ

日照：日向

土質：排水の良い土壌

水：乾き気味

花期：5月、6月、7月

肥料：春と秋に暖効性肥料を株元に与えます。

病虫害：特に心配ありません。過湿や排水に気をつけましょう。

剪定：梅雨から夏場はムレで傷みややすくなります。痛んだ枝葉は思い切って切り戻して新しい芽を出させましょう。

メモ：料理に良く使うハーブの代表格でブーケガルの主材料です。魚介類の料理に良く合います。

ツボサンゴ(ヒューケラ)

分類: 多年草
日照: 半日陰
土質: 排水の良い土壌
水: 乾いたらたっぷり与える通常の管理
花期: 5月、6月、7月
肥料: 春と秋に暖効性肥料を株元に与えます。

病虫害: 特に心配ありません。

剪定: 花が終わったら早めに花茎の根元から切り取りましょう。

メモ: 種類によって葉の色が豊富で、花だけでなくカラーリーフプランツとして重宝します。和風にも洋風にもよく合います。木の足元やシェードガーデンに。

ニューサイラン

分類: 多年草、グラス類
日照: 半日陰、日向
土質: 排水の良い土壌
水: 乾いたらたっぷり与える通常の管理
花期: -
肥料: 春と秋に暖効性肥料を株元に与えます。

病虫害: 特に心配ありません。

剪定: 特に必要ありません。葉が痛んだ部分があれば切り取りましょう。

メモ: 剣先のような葉のラインが魅力的な常緑のオーナメンタルグラス。植栽のアクセントに。

パコパ(ステラ)

分類: 多年草
日照: 半日陰、日向
土質: 排水の良い土壌
水: 乾いたらたっぷり与える通常の管理
花期: 4月、5月、6月、7月、9月、10月、11月
肥料: 生育期間中は液体肥料なら週1回、化成の固形肥料なら月1回程度与えましょう。

病虫害: 特に心配ありません。

剪定: 春から秋の成長期は伸びた過ぎた枝を随時切り戻してバランスを整えましょう。きった枝は挿し木で簡単に殖やせます。

メモ: 小さな白い花がかわいらしい。花壇の縁取りや寄せ植えの材料としても最適。寒さにやや弱いですが、愛知県の平地であれば日当たりのよい場所で露地でも越冬できます。霜があたると葉が傷みますが、翌春徐々に回復してきます。夏場はムレに注意しましょう。

パンジー

分類: 一年草
日照: 日向
土質: 排水の良い土壌
水: 乾いたらたっぷり与える通常の管理
花期: 10,11,12,1,2,3,4月
肥料: 開花中は肥料が切れると花数が少なくなります。10日に1回液肥を追肥するか、固形成成肥料を月2回追肥しましょう。

病虫害: アブラムシなどがつくので、オルトランなどで予防しましょう。

剪定: 花が終わったら花殻をまめに摘んであげると次の花が咲きやすくなります。

メモ: 秋から春に掛けての代表的な花壇花苗。冬の花の少ない時期になくはない花のひとつです。

ビバーナムティヌス

分類：常緑低木

日照：日向

土質：湿潤で腐植質にとんだ肥沃地がよい

水：乾いたらたっぷり与える通常の管理

花期：5月

肥料：腐植質に富むのを好むので、植え付け時に完熟堆肥を混ぜ込みます。

病虫害：特にありません

剪定：特に必要なし

メモ：別名セイヨウガマズミです。多数の枝を密生し、白系の小さな花をつけ、秋には黒～青紫色の実をつけます。実は切花に良く使われます。

ブリペット

分類：常緑低木

日照：半日陰、日向

土質：排水の良い土壌

水：乾いたらたっぷり与える通常の管理

花期：5月、6月

肥料：芽出しの為の寒肥(2月ごろ)と花後のお礼肥を株もとに与えます。寒肥は油粕などの有機肥料が良いですが、お礼肥には虫がわきにくいよう化成肥料が無難でしょう。

病虫害：病虫害は少ない。モンキチョウの幼虫がつくことがあるが捕殺程度で良いでしょう。

剪定：花後と秋にお好みの大きさになるように刈り込みましょう。

メモ：丈夫で育てやすく、葉の色が美しい。

ベアグラス

分類：多年草、グラス類

日照：日陰、半日陰、日向

土質：排水の良い土壌

水：乾いたらたっぷり与える通常の管理

花期：－

肥料：春と秋に暖効性肥料を株元に与えます。

病虫害：特に心配ありません。

剪定：特に必要ありません。葉が痛んだ部分があれば切り取りましょう。

メモ：非常に育てやすく丈夫な植物です。常緑性。

マホニア セイリユウ

分類：常緑低木

日照：日向

土質：排水の良い土壌

水：排水の良い土壌

花期：9月、10月、11月

肥料：11月、12月に寒肥として油粕や骨粉などの有機肥料を、4月、5月にも同じものを追肥として施します。

病虫害：特に心配ありません。

剪定：花後に伸びた太い枝を剪定し、分枝します。

メモ：低木、下草などの混植にすることで、この木の良さが引き出せます。

ミスカンサス

分類：多年草、グラス類
日照：日陰、半日陰、日向
土質：排水の良い土壌
水：乾いたらたっぷり与える通常の管理
花期：－
肥料：春と秋に暖効性肥料を株元に与えます。

病虫害：特に心配ありません。

剪定：特に必要ありません。

メモ：丈夫で育てやすい植物です。寒さにはやや弱く冬期は葉が痛んで枯れてしまうことがあります。翌春には新しい葉が出てきます。

ミセバヤ

分類：多年草、地被植物
日照：半日陰、日向
土質：土質選ばず
水：やや乾き気味
花期：10月、11月
肥料：地植えなら元肥だけでほとんど必要ありません。

病虫害：特に心配ありません。

剪定：特に必要ありません。

メモ：古くから親しまれている丈夫で育てやすい多肉の多年草です。秋にはピンクのかわいらしい花も楽しめます。

ビバーナムティヌス

分類：常緑低木
日照：日向
土質：湿潤で腐植質にとんだ肥沃地がよい
水：乾いたらたっぷり与える通常の管理
花期：5月
肥料：腐植質に富むのを好むので、植え付け時に完熟堆肥を混ぜ込みます。

病虫害：特にありません

剪定：特に必要なし

メモ：別名セイヨウガマズミです。多数の枝を密生し、白系の小さな花をつけ、秋には黒～青紫色の実をつけます。実は切花に良く使われます。

ラベンダー

分類：多年草、ハーブ
日照：日向
土質：排水の良い土壌、弱アルカリ性好む
水：乾き気味
花期：5月、6月、10月、11月
肥料：地植えなら元肥だけでほとんど必要ありません。

病虫害：特に心配ありません。過湿や排水に気をつけましょう。

剪定：収穫がてら花穂についている葉を一緒に4枚つけて切り取ると、腋芽から新たに蕾が出てきます。枝が間延びしたり大きくなりすぎた場合は、花後に思い切って草丈の3分の1から2分の1くらいの高さまで刈り込みましょう。梅雨前に刈り込んでおくともれ防止になります。

メモ：フレンチラベンダーの名前で知られている人気のハーブです。本種は比較的暑さに強く育てやすい。ドライにしてポプリやハーブティー、浴用に。

ローズマリー

分類: 多年草、ハーブ

日照: 半日陰、日向

土質: 排水の良い土壌、弱アルカリ性好む

水: 乾き気味

花期: 11月、12月、1月、2月、3月

肥料: 地植えなら元肥だけでほとんど必要ありません。

病虫害: 特に心配ありません。過湿や排水に気をつけましょう。

剪定: 梅雨の時期や冬前に収穫をかねて刈り込みます。その他の時期でも間引く程度であればいつ収穫してもかまいません。生育旺盛なので、多少の切りすぎは気にしなくても大丈夫です。

メモ: 丈夫で育てやすい人気のハーブ。お料理やポプリ、浴用に。品種によって立ち性のものと匍匐性と半立ち性のものがあります。

ロータス

分類: 多年草

日照: 日向

土質: 排水の良い土壌

水: 乾いたらたっぷり与える通常の管理

花期: 6月、7月、8月、9月

肥料: 特に必要ありません。

病虫害: 特に心配ありません。

剪定: 特に必要なし

メモ: 夏には白い豆のような、ぷっくりした花が咲きます。

ヤマボウシ

分類: 落葉高木

日照: 半日陰、日向、西日嫌う

土質: 排水の良い土壌、酸性嫌う

水: 乾いたらたっぷり与える通常の管理

花期: 5月、6月

肥料: 芽出しの為に寒肥(2月ごろ)と花後のお礼肥を株もとに与えます。寒肥は油粕などの有機肥料が良いですが、お礼肥には虫がわきにくいよう化成肥料が無難でしょう。

病虫害: テッポウムシ、5～10月にイガラがよく発生するのでスミチオン乳剤を散布する。病害ではうどんこ病が発生しますのでサプロール乳剤などの殺菌剤を散布します。

剪定: 特に必要ありません。枯れ枝や不要な枝を間引く程度でOKです。

メモ: 紅葉には個体差があります。